

第4回 運営推進会議 議事録

平成 30 年 3 月 17 日

事業所名	デイサービスセンター「すみよし」			
開催日時	平成 30 年 3 月 15 日 (木) 14 時 30 分 ~ 15 時 30 分			
開催場所	デイサービスセンター「すみよし」併設施設サービス付き高齢者向け住宅「グットハウスすみよし」食堂			
参加者	利用者	2 名	知見を有する者	1 名
	利用者家族	1 名	地域包括支援センター	1 名
	(地域住民の代表 欠席)		事業所職員	3 名
議題	1 運営状況 2 事故／ヒヤリ・ハット報告 3 活動報告 4 前回の課題 5 質疑応答 6 運営委員からの評価 7 今後の課題			
会 議 録				

1 運営状況

利用定員、午前・午後各13名の半日型デイ。一日平均利用者人数、午前11名、午後12名。
 男女比は、男性5割、女性5割と半々。平均介護度は2.1。
 ⇒平均介護度は前回の会議時1.9だったが、今回2.1と上がってきている(更新のタイミングということもあり)。

2 事故／ヒヤリ・ハット報告

- 《内容》 来所後、バイタル測定後まもなく、椅子に座った状態で意識喪失の状態を発見する。
 《対応》 発見後、臥床し2分ほどで意識回復。ご家族に連絡し救急搬送を要請。意識が回復したことから、ご家族が対応して病院受診をする事となる。ご家族が来所するまで様子観察。
- 《内容》 朝の送迎中、利用者1名を乗せて交差点で停止していたところ、後方から追突される。
 《対応》 事故後、車を安全な場所へ停車し利用者の身体状況を確認。痛みや外傷等は見られず。デイへ応援を要請し、管理者が現場へ。ご家族へ説明し、後遺症等の恐れもあるため、救急搬送で病院へ。異常なしと診断を受け、1週間後受診の指示を受けたため、後日管理者も病院へ同行し対応。
- 《内容》 帰りの体操の際、椅子に座ろうとしたが、そこに椅子がなく転がるように転倒。
 《対応》 身体状況を確認。併設サ高住入居者のため、サ高住職員に引き継ぎ様子観察。ご家族へ連絡し状況説明を行う。
- 《内容》 デイサービス利用中に突然デイサービスの外へ出て行ってしまう。
 《対応》 声掛け・対話をしてデイ内に戻っていただく。けが等は無いため、利用を継続させていただいた。認知症にて急な行動をされることがある為、見守りを強化して対応していく。

事故やヒヤリ・ハットが発生した際には、関係機関に報告を行うと共に、発生した日の内に職員間で原因・対策等の話し合いを行い、再発防止に努めている。

3 活動報告

- 実習生の受け入れを行った。H29年10月24～26日の3日間、甲斐清和高校普通科総合コース福祉クラスの2年生2名を受け入れた。
- 広報誌「グットケアー便り 新春号」発行。新聞折り込みチラシにて3万部配布。
- 半日型デイのため外出レク等ができないので、デイ内を季節の装飾で彩り、少しでも利用者に季節を感じてもらい取り組みをしている。

4 前回の課題

- 利用者の創作活動の展示について
 ⇒H29年11月の「介護健康フェアinこうふ」にて、利用者と一緒に作成したクリスマスリースや塗り絵を展示。
- 自宅での取り組み
 ⇒利用者・ご家族へ日常の運動について説明をしており、自宅でもできる運動等を提案している。
- 非常災害対策について
 ⇒水害を想定した訓練を5月、地震・火災訓練を9月に予定している。

(裏面に続く)

5 質疑応答

- ・ 利用者の身体状況に異変が生じた時や、ヒヤリハット・事故など発生した際の救急搬送の判断はどうなっているか？
契約書内で、①ご家族へ連絡し指示を得る ②連絡がつかない場合は主治医に連絡する ③主治医の指示が得られない場合は、救急車にて救急搬送を依頼する と説明している。他所ではどう対応しているか教えてほしい。
- ⇒ 看護師などの専門職の判断になるが、その時の状況や、その人それぞれの病状による。病状をきちんと把握できていれば、日頃から予測できる。緊急時の対応を事前に家族と話し合っておくと良い。
(知見を有する者) 緊急時の判断は、看護師と主治医が連絡を取り合っており対応している。
- ・ 認知症の利用者がデイから出ていってしまった時、どういった声掛けを行ったか？
他愛もない話から対話をして戻っていただいた。デイの扉を施錠して出ていかないようにすることもできるが、外部に開けた施設運営のため、職員たちの目で対応していく。
- ・ 併設のサ高住入居者で、デイすみよしを利用しているのは何名か？
15名の入居者中、11名が利用している。
(会議中で3名利用していないと話したが実際は4名)

6 運営委員からの評価

(利用者)

ここはとても良いところ。ここに居れば他のどこにも行きたくなくなる。

(利用者家族)

デイに行く日は着るものにも気を使って化粧をして行く。張り合いになっているようだ。デイから帰ってくると体操などで疲れているようだが、その分、夜もぐっすり寝られている。デイでの事を帰ってから良く話してくれる。友達や知り合いが多くいるので、私も安心して利用させていただいている。

(知見を有する者)

ホームページでこれまでの議事録を拝見したが、地域と非常災害対策を進めていっているのは良いこと。利用者・職員が和気あいあいとしている。このような会議を続けていくことで良い方向に向かっていくと思う。

(地域包括支援センター)

送迎中の事故時の対応と、後日受診同行など適切に行っているのは良い。ヒヤリハットの目的は、次に同様のことを起こさないこと。(職員間で既に話し合っていると思うが) 対応とともに予防策も練ってほしい。その積み上げが安全に繋がる。

こういった会議の場を大事にして、利用者を第一に、地域に対して風通しの良い施設を目指してほしい。

7 今後の課題

- ・ デイ内で身体状況に異変が起きた時などの緊急時の対応について、利用者それぞれの病状を把握し、緊急時、直ちに対応が取れるよう努める。急変の恐れがある利用者には、ご家族と緊急時の対応について事前に話し合っておく。
- ・ 事故やヒヤリ・ハットが発生した際には、職員間で原因・対策等を話し合い、再発防止に努める。会議の場でも再発防止策を示し、安全な施設運営を進めていく。

次回、第5回運営推進会議は、平成30年9月の予定